

謎解きしながら
人間の体のしくみを科学的に学ぼう

避難所で適切に生理用品を配布せよ!

ミッション
避難所で適切に生理用品を配布せよ!

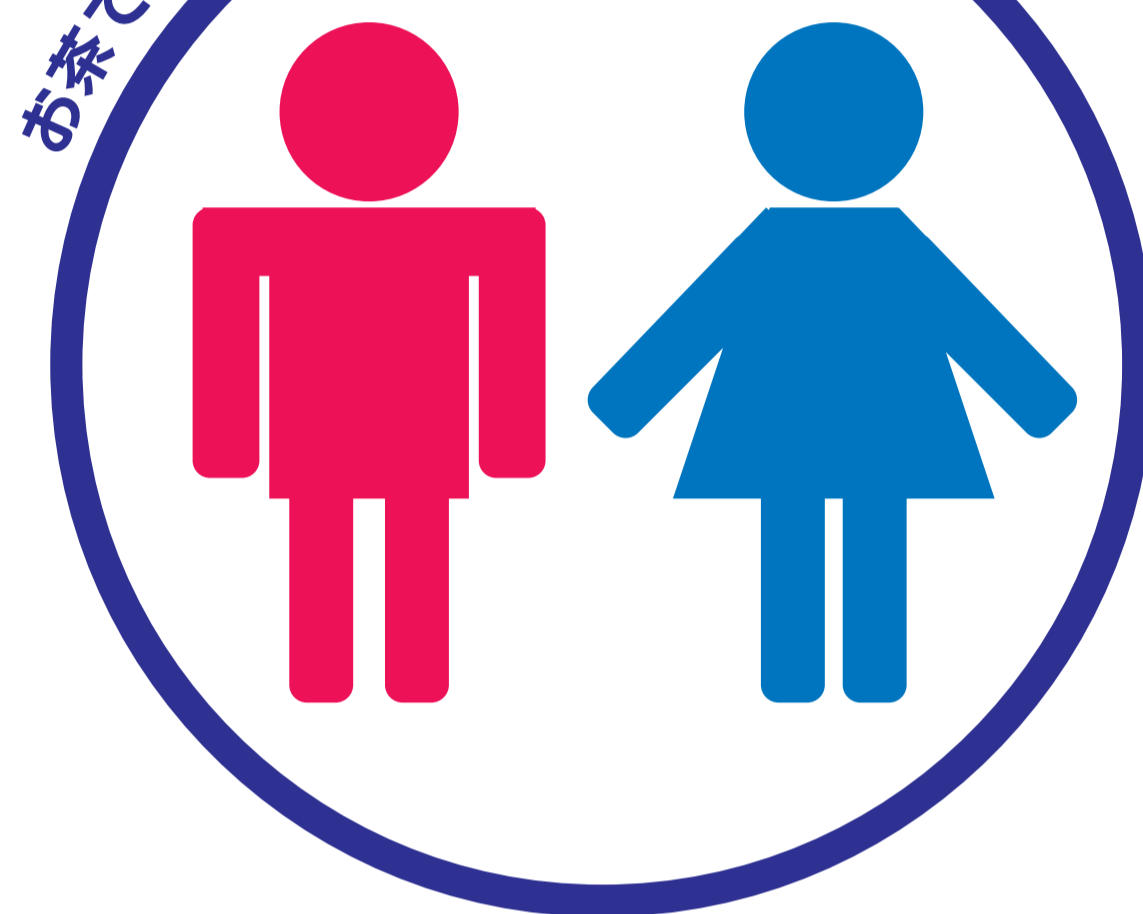


性の知識を科学的に学び、人と人の境界線や同意を共に考える。子どもたちに、正しく、明るく、楽しく包括的性教育を伝えていくことを目指しています。

2024年度は2つの事業を開催しました。

女らしさ男らしさを話してスッキリしよう!
そのモヤモヤ

お茶でも飲んで話してみんげ〜



ジェンダー平等な関係の作り方を考える交流会

8月12日 参加者 28名
金沢未来のまち創造館

性教育コンテンツ制作ユニット アクロストンを講師に「ミッション 避難所で適切に生理用品を配布せよ!!」を開催しました。

生理の仕組みの説明をうけて避難所と想定された各テーブルに紙袋に入った市役所からの支援物資の生理用品の情報が提供されました。

「この避難所にはこれを必要だと思われる人は、10代から50代の20人」

生理用品にふれながら、機能や使い方を講師の説明と付属の説明書を見ながら袋に入っている生理用品をどんな配分で頼むのか考えました。

各テーブルのナプキン、タンポン、月経カップは大きさも肌触りも、素材も違うものテーブルのメンバーで話し合いながら一つずつパッケージを開けてふれ、説明書を読み、女性は自らの経験も話しながら依頼する数を決めていきました。

テーブルごとの依頼数と理由が様々でこれほどいろいろな意見が出ることに驚きでした。

お話し

包括的性教育とは何か。

国連ユネスコ発行の「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」の8項目自分のからだ、自分の生き方をより幸せなものにしていくために必要な知識(科学的に正しい知識)を身に付けることが大切(出典:アクロストン)

子供たちが自分のことを自分で決めていくためには、アクロストンが大切にしたい3つのことは

★対等な関係性を築く

大人は社会的、経済的、力、肉体的にも、子供より強い存在。自覚せずに子供と接していると、子供は、大人が気づかないところで、自粛していることが多い。対等な関係の素を作っていくのがとても大事。「いや」な時に「いや」と言えて、「いや」と言った後もそのままの関係でいられることが対等

★境界を越える時には同意をとる

バウンダリーって境界がある。それは精神的なものであったり、場所、体の部分、家族であっても子供であっても入る、さわる場合は同意が必要。

★自分らしさを大切に

子供たちの「そのらしさ」を大切にするとお話されました。



9月27日 参加者 15名
長土堀青少年交流センター



坂井美津江さんを囲んで交流会を開催しました。坂井さんに「ジェンダー平等な関係の作り方」の考え方をお話いただきました。

「人間の尊厳を大切に社会」私たちは憲法13条「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。」に戻らなければいけない。「らしさ」という言葉は差別用語「自分らしさ」を決めるのは自分です。今の社会にある不平等や偏見を「変だよ」と思い「おかしだよ」と会話をしていきましょう。とお話されました。

交流会では、アンコンシャスバイアスチェックシートを見ながら、「無意識の思い込み」について4つのグループで話し合い、吹き出しカードにこれから意識していきたいことを書いて発表しました。



今後の活動

- 今年度のワークショップは大人の参加者が多かったため、大人向けに作り直していただいた。謎解きではなく参加者同士の対話中心のワークショップだった。来期は科学的な体の仕組みを謎解きの形で楽しく子供たちに提供していきたい。
- 大人の意識の再構築も重要と今年度の活動で感じた。オンラインなどを用いて専門家の講座を保護者等へ提供も検討したい

- 交流会の開催でジェンダーや人権の分野でも、今の社会に違和感のある方が多いとわかり、人権分野の専門家をお呼びして講演も開催できたらと思う
- 協働していただける団体や、スポンサーとなっていただける企業等を探していきたい

お問い合わせは **Take a step**

テイク・ア・ステップ



Instagram